

ハンガリーから日本向けに輸出される生きた家禽、家禽肉等の一時輸入停止措置について

令和3年1月7日

今般、ハンガリーのコマールム・エステルゴム県の七面鳥農場において高病原性鳥インフルエンザ（H5N8 亜型）の発生が確認され、当該発生に係る制限区域にジェール・モンション・ショプロン県に及ぶことから、両県から日本向けに輸出される生きた家禽、家禽肉等について、下記のとおり輸入が停止されました。

記

1 輸入停止措置の対象地域

コマールム・エステルゴム県、ジェール・モンション・ショプロン県

2 輸入停止措置の対象品目

- (1) 生きた家禽（鶏、うずら、七面鳥、だちょう、きじ、ほろほろ鳥及びかも目の鳥類並びにその初生ひなに限る。以下同じ）
- (2) 家禽の肉、臓器等及びこれらの加工品
- (3) 家禽の卵（試験研究用に供される種卵を除く。）及びその加工品

ただし、(2) 家禽の肉、臓器等及びこれらの加工品及び(3) 家禽の卵（試験研究用に供される種卵を除く。）及びその加工品のうち、令和2年12月11日以前に、と殺又は採卵されたものであり、かつ輸出されるまでの間、防疫上安全かつ衛生的に保管及び輸送されたものであること（令和2年12月11日までに加工・梱包まで終了していることが必要）をハンガリー政府が証明しているものについては、輸入停止措置の対象外とする。

3 輸入検査時における消毒措置の対象品目

羽毛

ただし、羽毛のうち、令和2年12月11日以前に生産され、かつ輸出されるまでの間、防疫上安全かつ衛生的に保管及び輸送されたものであることをハンガリー政府が証明しているもの。ただし、ニューカッスル病又は家禽コレラ発生地域から輸入される羽毛については、引き続き消毒の対象とする必要があるので留意されたい。